

2024 年度第 1 回北東学連総会

組織 北海道・東北学生オリエンテーリング連盟

開催日 2024 年 9 月 24 日

場所 Zoom 上でのオンラインミーティング

進行・議事録 坂本拓登

出席者

役員(投票権あり)

坂本拓登(幹事長/北海道大), 千葉愛莉(副幹事長/宮城学院), 山口宗大(会計/東北大), 鈴木皓也(広報/福島大), 小林和花(事業部長/岩手県立大)

各校渉外・部長(投票権なし)

山村瑛(東北大), 斎藤梢(北海道大), 久慈琢斗(岩手県立大), 前田柊(岩手大)

役員の子崎僚太(事業部長/岩手大)が欠席であった。6 大学各 1 名に投票権を与えるため、代理人として前田柊(岩手大)に投票権を与えた。

1 スプセレ日程変更の事後承認(議題提出者: 坂本)

坂本

2024 年度のスプセレを日程変更することについて、事後承認を前提として決定した。この決定について承認するかを役員に問う。

投票の結果、全会一致で承認

2 2024 年度予算案承認(山口)

山口

以下を 2024 年度予算案とする

収入(単位: 円)

前年度繰越金 1,439,500

当年度収入 612,500

北東学連加盟費 122,500

日本学連加盟費 490,000

補助金, 事業収入, 賛助金はまだないので 0 とする

支出(単位: 円)

日本学連加盟費 490,000

補助金交付 501,500

北東インカレ補助金 200,000 北東インカレを成立させるための経費

世界大会参加者 40,000 例年を参考

インカレエリート差額 31,500

夏合宿 0 今年度は夏合宿を開催しないため

トレイン調査 100,000 北東インカレトレインの調査の交通費

補助金 13,300

連盟誌印刷費 0 電子媒体のため
振込手数料 1,000 日本学連への振り込みのため
事務用品 7,300 北東学連の口座の印鑑作成
お礼品 5,000 前年度を参考

当年度収支 -262,300
次年度繰越金 1,177,200
1,000,000 以上口座に残る

質問(久慈)

収入の日本学連加盟費について、毎年春に各校から集めたものを北東学連の収入とし、それと同額を支出として日本学連に送金しているという認識であっているか。
→その認識で合っている。

質問(坂本)

今年の当年度収支 -262,300 の原因は何か

→昨年は補助金交付が少なく、前年度繰越金が余分に大きくなっていて、そのことを踏まえ、今年の北東学連加盟費を 1000 円から 500 円に減らしたため、収支がマイナスになったと考えられる。

補助金交付の北東インカレ 200,000 は何の費用なのか。また、なぜ前年度は 0 なのか。

→運営者交通費や調査の費用で、例年を踏まえ 200,000 としている。前年度について前任にきいたところ、補助金の申請がなかったため支払っていないと回答があった。今年はずでに交通費等の請求を受けている。

世界大会参加者 40,000 は何か

→寺嶋選手の JWOC 参加の補助金である

投票の結果、全会一致で承認

3 北東学連各役職の業務内容確認(坂本)

3.1 幹事長(発表者：坂本)

コロナ等により、その年ごとに業務内容が変化している。

日本学連幹事会に出席する。また、日本学連からくる情報を地区学連役員に伝達する。

日本学連加盟者の登録。

北東学連総会の開催。

セレの実施について実行委員や併設先運営者と連絡をとる。

2023 年度は東大 OLK 大会(ロングセレ併設大会)が不成立となったためその対応があったが、今年セレが成立したため実施していない。

セレの大会運営は実行委員がおこなうが、運営の依頼やセレ通過者選考は北東学連役員がおこなう。

伝統的にセレの実施に関する実行員との連絡は幹事長がおこなっている。したがって、どの大会をセレとするかも幹事長が初めに知っている。前年度幹事長は、2024 年度のロングセレ・スプセレが例年とは異なり連日開催とならないことを以前から知っていたが、北東学連役員に伝えていなかった。そのことが原因のひとつで、北海道大学がスプセレ移設の意見文を提出する事態となった。

また、ミドルセレを関東ミドルセレに併設することや、実行委員は東北大OBがおこなうことが伝統的に決まっている。

現状セレの実施に関して北東学連役員が意見を申し出る機会が少なく、また、伝統やその年の状況によってセレの形態が変化している。幹事長が最も情報をもっているため、幹事長が自発的に行動をはじめたり、役員に情報を伝達したりしないと進行しない。このような問題があるため、なんらかの仕組みの変更を検討している。

他に議案があれば発案するべきだが、今年は発案していない。

3.2 会計(山口)

予算案の作成。

決算案の作成。

北東学連、日本学連加盟費の徴収および送金・補助金交付。

合宿費用を連携して精算

連盟誌の発行や夏合宿の運営に関わる費用があれば広報部長・事業部長と連絡をとっておこなう。

意見(久慈)

前年度会計が岩手県立大の部員であった。前会計によると、引継ぎ資料が紙媒体でおこなわれているため、資料の郵送や不明点の連絡で引継ぎが滞っていた。

→通帳の郵送があるため、そのついでに送るという慣習のためだと考えられる。

郵送費用は北東学連の支出なのか。また郵送する場合、資料の分料金が上がると考えられる。

→おそらく北東学連決算の送料に含まれている。引継ぎ資料は来年度は word 等で用意するか検討する。

質問(坂本)

予算案は引継ぎ資料を参考に作成しているのか

→前年度の予算案をもとに数字を調整して作成している。

寺嶋選手の分の世界大会参加者 40,000 はどこから請求が来たのか

→まだ請求を受けたわけではなく、例年1人あたり 40,000 支出しているため、そのように予算案に入れた。

3.3 広報(鈴木)

北東学連 HP の管理。

セレの要綱やセレ通過者の掲載、総会の議事録の掲載。

北極星(連盟誌)の発行(2年前から作成されていない)

質問(坂本)

HP の編集は権限が必要か。

→ID, PW があれば編集できる。

補足(前田)

2年前から北極星を発行しておらず、北極星を知っている代の学生も卒業している。そのため以前の形式を再現するのは難しい。コロナ以前は紙で発行して各校に渡していたが、今作成するのであれば pdf 形式で発行するというように新しい形式をとればよいと考えられる。

3.4 事業部長(前田(代理))

北東学連夏合宿の開催。今年度は開催されなかった。

3.5 事務局長(小林)

役員のメーリスへの追加。
練習会申請書の受け取りおよび転送。

3.6 副幹事長(千葉)

幹事長補佐。今までのところ業務はない。

4 その他連絡事項(坂本)

昨年度、岩手県立大・宮城学院大・福島大から、部員数が少ないため、当面幹事長を免除してほしいとの申し出があった。このことも踏まえ、今年度中に北東学連の役職・業務体系の見直しを行う可能性がある。

また業務体系の見直しに伴い北東学連規約を修正する可能性がある。加えて、幹事長の業務で述べたようなセレ実施における問題点の改善のため、セレ規約を作成する可能性がある。役員の方には各自で規約類を確認してみてほしい。